

東京低平地の 高潮対策と まちづくりを考える

第一部 基調講演 (14:30 ~ 15:35)



「東京都の
高潮浸水想定図を
読み解く」

高知工科大学 学長
磯部 雅彦 氏

第二部 パネルディスカッション (15:40 ~ 17:00)

「東京低平地の高潮対策とまちづくりを考える」をテーマに、磯部氏をファシリテーターとして、3名のパネリストのみなさんとパネルディスカッションをします。



ファシリテーター
高知工科大学
学長
磯部雅彦氏



東京都港湾局
港湾整備部
水防対策担当課長
村岡洋次郎氏



Lueur 場所と
空間の研究所
所長
難波匡甫氏



建設技術研究所
東京本社
水システム部
安藤達也氏

海に囲まれた日本において、私たちはその恩恵だけを受け取ることはできず、同時に脅威や危機にもさらされる運命にあります。海からやってくる津波や高潮対策は、豊かな暮らしや住みよい社会の大前提である人身の安全確保であり、必要不可欠な生きるための工夫です。近年、地球の温暖化による海面上昇や、台風やサイクロン、ハリケーンの大型化による高潮被害が世界各地で年々深刻化し、その対策が急務となっています。そのような状況を受け、東京都では2018年に「想定し得る最大規模の高潮による浸水想定区域図」を作成、発表しました。この世界的な高潮の脅威、危機に直面し、これから私たちの暮らしに何が起こりうるのか。どのような対策が必要なのか。どのようなまちで豊かに暮らし、そして後世に残していきたいのか。みなさんで一緒に考えていきたいと思えます。

参加費無料

2020.10.30 (金)

〔申込〕 要事前申込
登録方法は裏面参照

〔定員〕 200名 (先着順)

〔締切〕 10月23日 (金)

14:30-17:00

オンライン開催

(Zoom ウェビナー)